

莫山「山ハイトクサ川ハイコサ」



モリス  
「山ハイトクサ川ハイコサ」

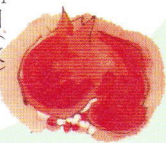
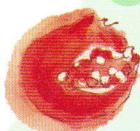


特集展示

没後十年 榊莫山展

莫山

2020  
9/24 木  
12/20 日



開館時間…9時30分～17時（入館は16時30分まで）

会場…常設展示室第2+3室

休館日…月曜日（ただし、11月23日は開館）、11月24日（火）

主催…三重県立美術館

助成…公益財団法人三重県立美術館協力会

観覧料…一般310（240）円 学生210（160）円

高校生以下無料

\*（ ）内は20名以上の団体割引料金 \*この料金で「特集展示／美術館のコレクション」、「柳原義達の芸術」をご覧いただけます  
\*生徒・学生の方は生徒手帳・学生証等をご提示ください \*障害者手帳等をお持ちの方および付き添いの方1名は観覧無料 \*県内学校（小・中・高・特支）等が来館する場合、引率者も観覧無料（要申請）  
\*毎月第3日曜の「家庭の日」は団体割引料金でご覧いただけます

三重県立美術館  
Mie Prefectural Art Museum

# 人はみんなまっすぐ歩く わしはひとり、横歩き

# 莫山

さかき ぼくざん  
榑莫山がこの世を去って10年が経ちました。莫山の詩情ゆたかな独自の「詩・書・画一体」の作品は、今もなお、人々に愛され続けています。

当館は、2011年、莫山の遺志により、作品108点の寄贈を受けました。今展覧会では、莫山の没後10年を記念して、当館所蔵の作品により、初期から晩年までの莫山芸術の軌跡をたどります。

## 【榑莫山とは】

莫山は、1926年、現在の三重県伊賀市に生まれました。少年時代から、書や絵画に関心を抱き、第二次大戦後、奈良の書家・辻本史邑に師事し、書家としての道を歩み始めます。そして、師の史邑が1957年に亡くなり、これをきっかけに書壇から離れると、ただひとり前衛的な書に挑み続け、「土」や「女」「花」「母」など、文字のもつ本源的なイメージを新しい造形感覚で表現した作品を発表しました。50歳ごろからは、「寒山拾得」などをテーマに素朴な言葉をそえた「詩・書・画一体」の水墨画を確立し、現代の文人と称されました。1981年、大阪から故郷伊賀に戻ると、伊賀の風景を題材にした作品を制作するとともに、テレビにも登場し、その個性的な風貌から「バクザン先生」の愛称で親しまれました。



《土》制作年不詳



《赤門 (崇廣堂) (伊賀八景)》1994年

表面の作品 《寒山拾得》1994年  
《ザクロ》(部分) 1994年

## 【関連イベント】

■学芸員によるスライド・トーク  
(申込不要/参加無料)

日時：10月25日(日)、11月22日(日)  
両日とも14時から(30分程度)  
\*定員：当日先着40名まで  
\*両日とも同じ内容になります

場所：三重県立美術館講堂

※今後の感染拡大などの状況によって、中止となる場合があります。  
その場合は、当館ホームページでお知らせします。



## 【交通案内】

津駅(近鉄・JR)西口より徒歩約10分。または津駅西口1番のりばより三重交通バス「西団地循環」、「津西ハイタウン行き(むつみ・つつじ経由)」、「夢が丘団地行き(総合文化センター前経由)」、「総合文化センター行き」のいずれかに乗車約2分「美術館前」下車徒歩約1分。駐車場もご用意していますが、できる限り公共交通機関をご利用ください(駐車場収容台数約130台)。

## 【同時開催】

企画展「香りの器 高砂コレクション」  
2020年9月19日(土)～12月13日(日)  
\*企画展の観覧料、詳細については、当館ホームページ、チラシ等をご覧ください

三重県立美術館 Mie Prefectural Art Museum

〒514-0007 三重県津市大谷町11  
TEL:059-227-2100 FAX:059-223-0570  
<https://www.bunka.pref.mie.lg.jp/art-museum/>  
Follow us on twitter@mie\_kenbi

